

福田 よしお 県政 レポート



編集・発行 福田よしお事務所 〒470-0155 愛知県東郷町白鳥二丁目 4-7
TEL: 0561-39-4407 FAX: 0561-39-4408 e-mail: fukuta440@yahoo.co.jp
ホームページ・Facebook にも活動の様子がのせてあります。ぜひご覧ください！



平成 30 年 9 月定例愛知県議会一般質問・建設委員会 平成 30 年 11 月定例名古屋港管理組合議会一般質問



平成30年(2018年)も間もなく暮れようとしています。皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は、福田よしおの活動に格別のご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、紙面の関係で前号(県政レポート第14号)に掲載できなかった「世界ラリー選手権日本ラウンドについて」大村知事の答弁内容や建設委員会県内調査や委員会での議案質疑(日進市、東郷町に関する事業)など及び11月名古屋港管理組合議会本会議で「障害者雇用について」質問しましたのでご報告いたします。私は皆様の声に耳を傾け「公正、公平、平等で働くことを軸とする安心社会の実現」をめざし、安心安全で活力ある愛知県の発展のため今後とも活動してまいりますので、皆様の一層のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。結びに皆様が2019年の輝かしい新年を健やかに迎えられますようご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。



「世界ラリー選手権」と「自動車社会」

世界ラリー選手権（World Rally Championship＝WRC）はFIA(国際自動車連盟)が1973年に創設しました。世界各地で開催されていたラリーの中から選ばれた13戦がシリーズ化され、世界選手権のタイトルがかけられたのがその始まりでした。以来WRCは45年もの間ラリー競技の最高峰として、特にラリーが盛んな欧州や南米ではF1に勝るとも劣らない人気を誇っています。WRCはサーキットレースとは違い「SS」（スペシャルステージ）と呼ばれる交通が遮断された一般道をラリー車で走りタイムを競うもので、SSでは1～3分の間を置いて1台ずつスタートします。SSは3～4日間にわたり何カ所かで行われ、各SSの合計タイムによって競技最終日の日曜日に勝敗が決まります。SSはターマック（舗装路）、グラベル（未舗装路）、スノー（雪道）など様々なコンディションの道で行われ、各国のラリーごとに特色あるコース設定となります。SSとSSの間は公道を走行して移動を行い、その移動区間（リエゾン）では一般車と同様に交通ルールを守って走行しなければなりません。また、ドライバーとコ・ドライバー（ナビゲーター）のふたりがペアを組んで戦うのもラリーならではの特徴です。さらに市販車をベースに競技車輛（ラリー車）をつくるため、ラリーの成績はベース車両の人気やメーカーの信頼も高くなることから世界の自動車メーカーが規定の範囲で最新の技術を駆使して競います。そのラリー車を操るドライバーと指示を出すコ・ドライバーのコンビネーションも勝敗を左右します。現在販売されている自動車は、レースやラリーを通じて得られた技術や安全対策が活かされています。そして自動車を運転する私たちは「走る」「曲がる」「止まる」の基本操作に忠実で交通法規と交通マナーを守り、模範となる運転を実践する「自動車社会」をみんなで築きましょう。

写真提供 SAN' S INC



本会議一般質問

世界ラリー選手権日本ラウンドについて

質問要旨(福田よしお)

世界ラリー選手権(WRC)日本ラウンドが愛知県・岐阜県で開催されるとの報道があるが、今後どのようなスケジュールとなっていくのか。



答弁要旨(振興部長)

WRCの日本への招致については、本年1月12日にWRC日本ラウンド招致準備委員会が設立され、JAF（日本自動車連盟）やWRCを主催するFIA（国際自動車連盟）との調整が進められてきた。この8月22日には、招致準備委員会が日本自動車連盟を通じて国際自動車連盟にWRCの愛知・岐阜での開催を申請した。今後は、11月3日・4日に国際自動車連盟の関係者が来日し「新城ラリー」などを視察する予定となっている。この視察を経て12月上旬には、国際自動車連盟において開催地の最終決定がなされ公表されるものと聞いている。

質問要旨(福田よしお)

愛知県としてWRCに関する調査・研究はどのように取り組んでいるのか。

答弁要旨(振興部長)

日本では、2004年から2010年まで北海道でWRCが開催されており、その経緯や実績を参考にしながら本県で開催された場合に想定される交通アクセスの課題や観客のおもてなしの方法などについて検討している。また、海外で実際に開催されている現状を把握するため8月にドイツで開催された世界ラリー選手権に職員を派遣し、メイン会場の施設配置、観客の安全対策、駐車場の確保、都市の装飾などについて調査を実施した。こうした調査の結果は、関係市町や岐阜県と実務的に共有しており愛知・岐阜でWRCが開催された場合の取組みに生かしていく。



質問要旨(福田よしお)

主催者や関係自治体に対して、どのように支援していく予定なのか。

答弁要旨(振興部長)

本県では、今年で15回目を迎える「新城ラリー」を新城市などと協力しながら、5万人以上の観戦客が訪れる日本最大級のラリーイベントとして盛り上げてきた実績がある。2013年の第10回大会からは県営新城総合公園にメイン会場を移し、迫力あるラリー競技を間近で見られるようにするとともに公園内でステージイベントを開催したり、地元製品のブース出展を行うなど誰もがラリーを楽しめる環境を作ってきた。また、より多くの観戦客にお越しいただくため、名古屋市中心部でのラリーカーパレードや観戦ガイドなどによるPRなども行っている。WRC日本ラウンドがこの12月に開催が決定すれば、来年秋の開催まで準備期間が約1年と大変短くなっているが、新城ラリーの経験やノウハウを活用して、国内はもとより海外から多くのラリーファンに来ていただけるよう、県としましても主催者や関係市町とともに大会の盛り上げなどにしっかりと取り組んでいきたい。

答弁要旨(大村知事)

WRCの日本ラウンドが2019年に愛知県において開催されることとなれば、本県にとって大変誇らしいことであり心から歓迎したいと考えている。世界一の自動車産業の集積地である本県には、自動車文化やモータースポーツの素晴らしさを世界に発信していくというミッションがある。自動車レースの最高峰のひとつであるWRCは日本の自動車関係者、モータースポーツファンの皆様がかねてから待ち望んでいる大会であり、WRC日本ラウンド招致準備委員会や岐阜県、関係市町の皆様と協力し日本を代表するモータースポーツの中心地として、この地域から世界に発信できるラリーをつくっていただけるよう大会の実現に向けて全力で取り組んでいきたい。

参考 最新情報ではWRC日本ラウンドは2020年の開催に向けて招致活動を続けています。

建設委員会 議案質疑

第117号議案(補正予算)東郷中央土地区画整理組合へ補助金7,715万円増額について質疑し、開業が予定されている大型商業施設に面する延長約800メートル2車線道路である都市計画道路名古屋春木線を来年度末までの供用をめざしているため、今回の補正事業費で整備促進ができるとの答弁を得ました。全体計画が示されましたので掲載します。

●東郷中央土地区画整理事業内「都市計画道路 名古屋春木線」スケジュール

項目	路線名	工事概要	H 3 0 年度			H 3 1 年度			H 3 2 年度		
			事業費（百万）			事業費（百万）			事業費（百万）		
工事	（都）名古屋春木線	道路築造工									
			当初 368 補正 77			約2億					
進捗率（事業費ベース）		H29年度末 0%	約6割 → 約7割			100%					
民間施設	大型商業施設					建築工事			オープン		
						● → ● →					

●補正箇所図（東郷中央土地区画整理事業）



愛知県議会建設委員会県内調査

平成30年9月19日(水)尾張建設事務所管内を愛知県議会建設委員会12名で現地調査を行い、東郷中央土地区画整理事業の中を東西に通る「都市計画道路名古屋春木線(県道)」とその西側の県事業の進捗状況および今後の計画について説明を受けました。同事業の西側県道580メートルは県事業区間として道路築造工事を進め、大型商業施設の開業までに開通させる予定と説明されました。一方、東側は未着手となっており、同土地区画整理事業は東西に県道が開通することが重要で同時進行するとともに、同県道をみよし市の県道豊田知立線まで延伸するように要望しました。

次に補正予算のうち河川事業費(河川局部改修費15億円、河川環境対策費3億円)の内容について質疑し、全県下の予算ではあるが天白川上流部(日進市)と境川上流部(東郷町)は土砂の堆積や樹木の繁茂などがあり、緊急性、必要性の高い箇所から対応するとの答弁を得ました。後日、対応場所及び対応時期について示されたので掲載します。



伐木（向山橋上流）



伐木（天白川橋下流）



伐木(境川合流部)



- ① 天白川（米野木[向山橋上流]）
③ 天白川（野方[野方橋上流右岸]）

- ② 天白川 [天白川橋下流]

- ④ 境川・前川
(境川・前川合流点[諸輪橋下流])

実施予定 ① ② ④ ～河積阻害となる雑木の伐採については今年度中に対応
③ ～野方橋上流右岸の雑木除去は8月に伐採を完了済

11 月定例名古屋港管理組合議会一般質問



名古屋港管理組合庁舎

最近の報道によれば国、特に中央省庁において障害者雇用の水増し問題が発覚するとともに、その後、都道府県のうち少なくとも28都県や複数の中央省庁で障害者を求人する際に、応募資格に「自力通勤できる」とか「介助者なしで業務が遂行できる」など不適切な求人条件も明らかになりました。さらに県内の自治体においても不適切な求人条件を設けていることも分かり一部事務組合を含む多くの自治体が障害者の求人条件の検討が迫られている事態となっています。そこで本組合の「障害者雇用について」順次質問しました。

質問要旨(福田よしお)

障害者の雇用人数、雇用率、配置と合理的配慮について伺う。

答弁要旨(総務部長)

現在、本組合の障害者雇用人数は平成30年6月現在8人で雇用率は2.77%で全員身体障害者手帳の所持を確認している。法定雇用率は2.5%であることから本組合は法定雇用率を達成している。また、障害がある職員の配置職種、配置部署は8人全員が行政職として4つある全部室に均等に配属し、デスクワーク中心の仕事をしている。次に合理的配慮については、車いすを利用する職員が入庁した際には座席や通路の幅を確保する等の配慮をしている。

質問要旨(福田よしお)

不適切な求人条件と今後の障害者雇用の促進について伺う。

答弁要旨(総務部長)

直近では、本組合が平成25年度に行った障害者を対象とした求人の中に「自力により通勤ができ、かつ、介護者なしで一般事務職としての職務を遂行できる方」と条件等を付けていたが、障害者雇用促進法の趣旨に照らして適切でないため、今後、障害者の求人を行う際には改めていきたい。また障害者雇用の促進については他の地方公共団体の事例の調査や障害者雇用に関する研修に積極的に参加するなどして、本組合として障害者の雇用の確保に向けてしっかり取り組んでいく。

質問要旨(福田よしお)

障害がある職員の人事考課上の取扱いについて伺う。

答弁要旨(総務部長)

障害がある職員の人事考課については他の職員と同じ基準で、本人の能力と業績に基づいて公平かつ適切に評価している。今後も障害がある職員の能力や適性が発揮でき、生きがいを持って働けるような職場づくりを目指していきたい。

再質問要旨(福田よしお)

今後の障害者雇用促進と指定管理者募集要件について伺う。

答弁要旨(総務部長)

障害者雇用については、今後とも障害者の雇用の促進と職業の安定を図る観点から本組合として計画的、継続的に障害者の採用試験を実施するなど地方公共団体の責務を果たしていく。また指定管理者の募集に関しては、法定雇用率を募集要件等に取り入れている他の地方公共団体の事例を参考にしながら本組合においても検討していく。



活動 Photo



11/11 東郷町文化産業まつり



11/15 愛知県表彰式
東郷町消防団



11/17 第39回にっしん文化祭



11/18 にっしん市民まつり